## 平成25年度授業シラパスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB(Seminar of Study B)		授業コード	C172585
担当教員名	演光 とこう		0172363	
配当学年	3	開練期	後期	
必修・選択区分	必修	単位數	2	
履修上の注意ま たは履修条件	これまでの科目でわからない事柄がある場合は、必要に応じて早期に再学習することを薦めます。			
受講心得	卒業研究として希望する専門分野の担当教員クラスを履修すること。演習を伴う授業なので遅刻・欠席をすると授業についていけなくなります。			
教科書	知へのステップ くろしお出版 、大学生のためのレポート・論文術 小笠原 喜康 (著)			
参考文献及び指 定図書	Linux標準教科書(Ver2.0.0) http://www.lpi.or,jp/linuxtext/text.shtml			
開連科目				

授業の目的	研究ゼミナールは4年次の卒業研究に着手するための準備を行うことを目的とした科目です。 情報メディア学科では3年次進学時に情報メディア技術コース、情報メディア表現ースのいず れかのコースに進み、コースごとに開議される専門教育科目を履修しながら各コースに必要と される専門を告めていきます。この科目は各専門保証の対象がゼミナールおよで開議する ことで、学生に専門教育科目の履修だけでは不足しがもな専門教育を学ぶ上での学習方法・ 学習態度を身につけてもらと同時に、卒業研究に着手する上で必要となる専門領域に関する より高度な知識・技術の習得をめざします。
授業の概要	商用OSであるWindows等は一般の利用者が使用する事が多いですが、ここではインターネット 環境を支えるUNIX系OSを中心に技術習得を行います。OSSを含め先んの資産を使いこなし、 開発現場でも使用されているツールを題材に取り上げ、演習を行います。

○無金計画

○ 技术 前間	
学修内容	学修課題(予習·復習)
<b>第1週:</b> この講義に関して、取り組む内容および環境整備についてガイダンスを行います。ボー タブルHDDを用意してください。	WEB資料(学内のみ)
第2週: 他者の取り組んだ研究等の調査を行い、内容について見直し、理解を行います。	WEB資料(学内のみ)
第3週: 論文執筆等の演習 準備	WEB資料(学内のみ)
第4週: 論文執筆等の演習 校正	WEB資料(学内のみ)
第5道: 仮想マシンによるLINUXの演習 復習	WEB資料(学内のみ)
第6週: 仮想マシンによるLINUXの演習 システム管理	WEB資料(学内のみ)
第1週: 仮想マシンによるLINUXの演習 ユーザ管理	WEB資料(学内のみ)
第8週: 仮想マシンによるLINUXの演習 パッケージ管理	WEB資料(学内のみ)
<b>第9週:</b> 仮想マシンによるLINUXの演習 パッケージ導入等	WEB資料(学内のみ)
第10週:	

仮想マシンによるロ	反想マシンによるLINUXの演習 情報システムの導入 LAMP			
<b>第11週:</b> 仮想マシンによるLINUXの演習 情報システムの導入 Apache			WEB資料(学内のみ)	
第12週: 仮想マシンによるLINUXの演習 情報システムの導入 WIKI			WEB資料(学内のみ)	
<b>第13週:</b> 仮想マシンによるLINUXの演習 情報システムの導入 munin		WEB資料(学内のみ)		
<b>第14週:</b> 仮想マシンによるLINUXの演習 自己設定テーマ		WEB資料(学内のみ)		
<b>第15週:</b> 仮想マシンによるLINUXの演習 自己設定テーマ		WEB資料(学内のみ)		
	(1)授業の形式	「演習等形式」		
授業の運営方法 (2)複数担当の場合の方式				
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」		
備考				

〇単位を修得するために達成すべき到達目標		
【関心・意欲・態 度】	宿題・課題の取り組みを報告できる。グループワークを円滑に行うよう協力する事ができる。	
【知識・理解】	仮想マシン、OSなど基礎知識の理解、LINUXを中心としたネットワーク・サーバの理解ができる。 しポートの作成、校正についての理解ができる。	
【技能・表現・コミュ ニケーション】	演習の内容を記録、報告できる。グループワークを行う上で自らの発信ができる。	
【思考·判断·創 造】	正しい手引き等を取得し、演習・操作ができる。	

〇成綾評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。		15点		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		25点	25	点
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働くカ」「前に踏み出すカ」を含む。			15	点
【思考・判断・創造】 ※「考え抜くカ」を含む。		20点		

## (「人間力」について)

※以上の観点に、「こころのカ」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を設定、人格の向上を目指す能力」と「職業能力」(職業観、誘発力、論理的思考、表現能力など、産業券の一員となり地域・社会に貢献するために必要を能力と加えた能力がで、人間力です。

〇配点の明確でな	〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安		
レポート・作品等 (提出物)	毎回、講義中に授業内容について課題を出します。達成水準の目安は以下の通りです。 [SUベル]単位を修得するために達成すべき別遠目標を満たしている。 [AUベル]単位を修得するために達成すべき別遠目標をほぼ満たしている。 [BUベル]単位を修得するために達成すべき別遠目標をに指満たしている。 [CUベル]単位を修得するために達成すべき別遠目標をかなり満たしている。		
発表・その他 (無形成果)	相互補助ならびに、記録・報告する内容について達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。		